



京都市立深草幼稚園

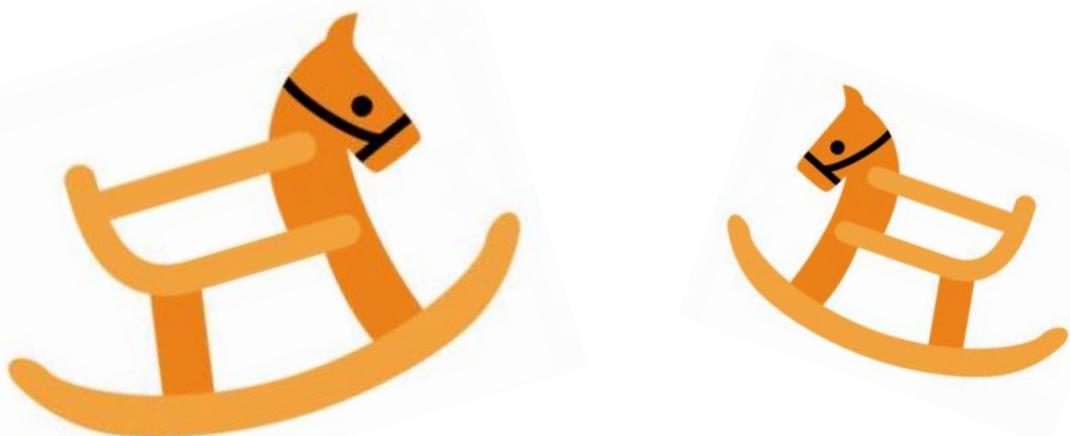
パパ・ママの声



現在、通園しているそら組・にじ組のパパ・ママに

アンケートを実施して生の声を集めました！

ぜひ参考にしてください！！





深草幼稚園・入園の決め手は？

- ・子ども1人1人の意見を尊重してくれるため。
- ・子ども達の性格、ペースは様々なのにそこ否定せず成長させてもらえると感じた。
- ・遊びを中心とした保育で色々な経験ができる。
- ・色水、泥遊びができる。
- ・上の子が通っていたので。
- ・園庭が広く、遊具や、畑、砂場、プールでのびのび遊べると思った。
- ・近隣のため。
- ・公立幼稚園ということは小学校、中学校へと自然と流れを作ってもらえる（遊びから勉強へ）教育・保育をされていると思ったから。
- ・自然と関わるところ。（竹林、芋掘りなど）
- ・堅苦しい制服がないところ。
- ・動物のお世話ができる。
- ・花や野菜を子どもたちが種を蒔いて育てて収穫するということに感心。
- ・子どもの自主性を大切にしてくれる。のびのび保育。
- ・幼稚園きょうだいがあること。
- ・預かり保育がある。
- ・三角馬や竹馬で遊ぶところ。
- ・保育内容がいい。幼児の発達に合っている。
- ・先生方が丁寧に子どもを見てくれるところ。
- ・先生への信頼感。
- ・保護者が直接、園へ送迎することで子どもや園の様子を知ることができる。
- ・先生との距離が近く、安心できたから。
- ・園外保育が多く、たくさんの楽しそうな行事。
- ・子どもが子どもらしく成長させてくれそうな保育をしていたので。
- ・地域との交流。

2

いつもお弁当には何を入れていますか？

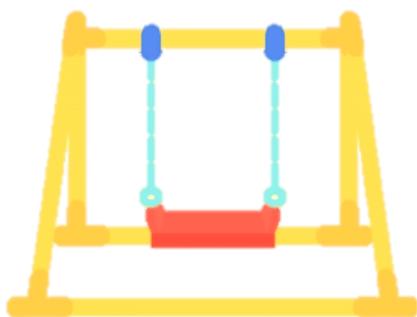
- ・昨日の残りもの。
- ・晩御飯を多めに作って冷凍し、ストックを作つておく。
- ・ほぼ毎回同じお弁当。
(卵焼き、ウインナー、ブロッコリー、ミニトマト、ミートボール、おにぎり、ポテトサラダ、切り干し大根、ほうれん草のごま和えなど)
- ・家では苦手で食べられなくても、園ではちょっと背伸びして食べようとしてくれるので、苦手なものも入れています。
- ・食べやすければいいかなと思っています。
- ・偏食なのでまずとにかく食べ切ることを目標に好きなものだけ。
- ・けっこう冷凍食品に頼っています。(ごま団子、スイートポテトなど)
- ・子どもの好きなものばかりでも、週に1回のふかふかランチで食べたことのないものにも挑戦できるので、小学校に行った時の給食の心配も少しほくなるように思います。
- ・キャラ弁は1度も作ったことはない。
- ・彩りはふりかけなどで。
- ・楽しく食べてもらえるように最初は好きな物だけしかいれませんでした。慣れてきたら野菜をいれます。
- ・時間内に食べられるように、好きなものだけ。
- ・お箸は使えるけど食べやすいように小さいおにぎりをいくつか。
- ・前通っていた保育園は月1のお弁当で、そのほうがしんどく週3のほうがどんどん力が抜けて適当に(笑)



3

子どもが好きな幼稚園の遊び・行事は何ですか？

- ・みんなで一緒に食べる事ができる行事。(カレーパーティーなど)
- ・色水遊び
- ・外遊びだけでなく室内遊びも大好きです。
(積み木、おままごと、ごっこ遊び、お絵かき、工作、歌)
- ・友達と鬼ごっこ、かけっこ、しっぽとり
- ・忍者ごっこ
- ・大型遊具
(ジャングルジム、ブランコ、鉄棒、うんてい)
- ・たけのこ堀り(ふかふか竹林)
- ・ふかふかランド(預かり保育)
- ・夏のプール、水遊び
- ・砂場で穴を掘ったり水を流したり、泥んこ遊び(泥遊びは苦手だったけど好きになりました。)
- ・稻荷山の遠足
- ・ふかふか竹林へ行くこと。
- ・なかよし会の方との交流行事
- ・お誕生日会
- ・運動会
- ・虫取り(チョウ、トンボ、バッタ、セミなど)
- ・竹馬、三角馬
- ・幼稚園で遊ぶ事は全部





園外保育（遠足）の感想

- ・コロナ渦で公共交通機関が使えなくとも地域の方の協力で竹林、稻荷山など行ける場所がある。
- ・自然との触れ合いが多く、子どもにとって良い影響を与えてくれている。
- ・お出掛けのたびに子ども達が楽しそう。ハイテンションで帰ってくる。
- ・みんなで同じ所に行くという目標やけがをしないということ、年々良くなっているような気がする。
- ・幼稚園きょうだいとお出掛けするのをいつも喜んでいます。
- ・歩ける時間が長くなった。
- ・体力がついて小学校へ行くときの登下校の心配がない。
- ・初めて行く所や経験をして毎回ワクワクしています。
- ・園外保育をとても楽しみにしている。
- ・普段できないいろんな経験をして帰ってくる。
- ・季節によっていろいろな体験をさせてくれるのが嬉しい。
- ・竹林でごみ拾いをした事を何度も話してくれて、きれいにすることの大切さを知ってくれた。
- ・にじ組、そら組、みんなとお出掛けできた事がとても楽しかったようです。
- ・そら組の頼もしい姿を近くで見て憧れを持ったり、にじ組のみんなと一緒に様々な気持ちを共有できたんじゃないかなと思います。



- ・子どもがやりたい事、遊びたい事にとことん先生が付き合ってくれるので、幼稚園に行きたくないと1度も言わないくらい幼稚園が大好きです。
- ・親が送迎することで子らの様子を感じることができ、それが子育てに良い影響を与えていると思います。
- ・少しの声の掛け合いでみんなが明るく、とても元気な雰囲気がしていて幼稚園全体が明るいです。
- ・子どもの表情がいきいきとして毎日安心して楽しく過ごしているのが分かる。
- ・2年保育だし、ほぼ毎日お弁当だし…と懸念していましたが、実際通ってみるとひよこ組もあってほぼ3年保育だと感じることができましたし、お弁当も何とかなるものでした。
- ・子どもがのびのび遊びに集中できる環境。
- ・子どもにとっては遊びまわれる絶対楽しい幼稚園。
- ・お母さん同士の仲が良いし、通っていて気持ちが良い。
- ・園外保育や野菜の栽培を通していろいろなことに興味を示すようになった。
- ・子どもや親に寄り添ってくれる雰囲気がある。
- ・ひよこ組の時からいい幼稚園に入れて良かったと思っています。先生から直接園での過ごし方が聞けるし、クラスの子達や保護者の方々もいい人ばかりで感謝。先生からも的確なアドバイスがあります。
- ・子どもの運動面、体力面もすごく伸びます。先生方の保育に対する意識がとても高く、一人ひとりしっかり見てくださっている。
- ・小学校や地域との交流が多く、就学時への子どもの不安が少ないように思います。(コロナ渦でも自分で育てた苗を届けたり、質問を映像で答えてくれる。)
- ・保育後の園庭開放で子ども達もお友達と遊べて、保護者間でもコミュニケーションがとれる。
- ・先生が育児相談にいつでも応じてくれる。なんなら卒園した上の子の相談も親身に応じてくれる。
- ・陽当たりの良い明るい園。
- ・子ども達が協力し合い考え動くことができる。
- ・先生がすばらしい。(保護者へのサポート、園児への対応、子どもに寄り添ってくれる。)
- ・汚れた服を見て一生懸命遊んだんだなと嬉しくなります。

- ・卒園して小学校1年生になった際、2年生になっている幼稚園きょうだいが教室に「〇〇ちゃん！」と会いに来てくれてとても喜び安心して小学校に通えた。その後、2年生になった時には同じ幼稚園だった新1年生に会うため教室へ行っていたようで、自分も嬉しかったこと、安心できたことを小さいお友達に返せているところを見て、幼稚園きょうだいを通して自然と優しさを学んでくれていると思った。
- ・ひよこ組は他園と違って親が傍で見守っていられるのでとても安心できた。
11:30の降園時間も親としては午前中だけしかゆっくりできないかも知れないが、子どもも主体で考えると初めての社会生活、団体生活にはちょうど良いと感じられた。気軽に相談もできたので、まさしく「教育相談」の位置づけがぴったりであった。
- ・種まきや苗を育てることは本やテレビだけで学べないが、幼稚園では1年を通して体で学ぶことができる。土の中にいる虫の役割や、日照りが続いて不作になること、反対に豊作になることの喜びなどが自然と身に付いている。自ら育て、収穫したものを調理してみんなで食べることは大きくなつてからも思い出に残ると思う。
- ・勉強より心を育てることが大事。勉強は後からでも身に付くが、心を開放して遊ぶことが幼稚園で必要である。幼児期に読み書きできなくても心配なし！
- ・人に興味、関心のある子が多い。親自身も幼稚園に安心して預けられるので子どもも安心してのびのびと遊べているように思う。子ども同士の揉め事も子ども同士の関わり合いで解決しているので、自然とコミュニケーション能力が身に付いた。
- ・絵本をたくさん借りられ、1年間で100冊読む取り組みに感心した。
(1週間に3冊借りられるペースのため、全員が無理なく目標を達成している。)
小さい内から本に親しんでいるからか、小学校へ上がってからも本を読む習慣が付いている。
- ・幼稚園を卒園しても幼稚園が大好きで、自由帳に幼稚園の思い出を忘れないように描いています。幼稚園での出来事が宝物なんだと思いました。